

広告

企画・制作：
読売新聞社広告局大学
SELECTION

西九州大学

いのちと健康に寄り添う5学部7学科
「あすなろう精神」で
地域に貢献できる人材育成健康栄養学部の実習
人気の「栄養教室」で
管理栄養士としての道筋を

健康栄養学科は、西九州大学グループ健康支援センター(佐賀市)で、3年生による栄養教室を毎年開催している。6グループに分かれた学生が、減塩、丈夫な骨作りなど自分たちで決めたテーマで簡単な講義をし、テーマに沿った独自のレシピを参加者と一緒に調理・食事する、市民に人気の講座だ。学生たちは11月・12月の講座に向け、約半年をかけてテーマ設定や講座内容、レシピ作成を議論し、試作を繰り返す。どうしたらわかりやすい講義になるか、栄養価だけでなく家庭で取り入れやすいレシピになっているか、相互チェックを繰り返し、別の視点で見ることを、相手の考えを理解することの大切さを身に付ける。この一連の経験は企画力・実践力の向上に大変役に立つという。健康を考え、より良い食生活に導く管理栄養士に欠かせない心構えを身に付ける貴重な経験となっている。

活動通じ人と向き合う
健康福祉学部の取り組み

社会福祉学科では、昨年8月に佐賀県を中心に起きた豪雨災害の被災地支援チーム「OKBASE(オカベース)」を結成。学生、卒業生、教員が武雄市で活動が続いている。今年3月までに94日活動、延べ参加人数は212人。被災直後の清掃、後片付けでは戸別訪問によるニーズ調査、グーグルマップとクラウドサービスを使った被災家屋情報を作成し、活用できた。復興へと向かう中ではサロン活動が主となり、アロマオイルでのハンドケア、足湯、蜜蝋ハンドクリーム作りで高齢被災者と向き合った。親身になって話を聞き、小さなサインも見逃さない「傾聴の姿勢」の大切さを体験した。支援中に知り合った「神戸大学学生震災救援隊」と、連携する構想も出ている。被災地ボランティアとして活動するだけでなく、大災害が起きた時、効果的に動けるチーム作りまで視点が広がっている。

学部情報

◎学部
健康栄養学部、健康福祉学部、
リハビリテーション学部、子ども学部、看護学部
◎大学院
生活支援科学研究科

西九州大学は、栄養・医療・福祉・教育分野の5学部7学科で生活支援を科学し実践する。

将来の成長に備えて自分を磨く「あすなろう精神」のもと、

専門知識を身に付け自分で考え行動する大切さを自覚した学生たちは、地域に学び、ともに歩んでいる。

各学科や教授の取り組みは様々だが、地域や社会に貢献するといった建学の理念が一貫して強く反映されている。



1 健康栄養学科・栄養教室 2 社会福祉学科・被災地ボランティアでの足湯の様子 3 スポーツ健康福祉学科・出張スポーツ教室 4 子ども学部・子どもミュージアム

スポーツ健康福祉学科は、放課後等デイサービスを利用する障がい児・者を対象に、スポーツを通じて一緒に体を動かす「出張スポーツ教室」を続けている。障がいの程度に応じてフロアホッケー、フライングディスクなどの障がい者スポーツ、トレーニングメニューで1時間程度のプログラムを作成・運営する。学生の思い通りに動かない子どももいて計画通りに進まないことが多く、その場で判断しながら進める。各自が責任を担うことで自主性が育っている。2、3年次に開講されている「地域スポーツ実践演習」で身に付けたスキルを高める貴重な機会だ。佐賀県障がい者スポーツ協会の指導員となった同科卒業生も運営に関わっており、担当教員は「地域に支えられている」という意識を持ち、ゆくゆくは還元したいと考える学生が卒業していくのは、大変心強い」と話している。

「引く手あまた」の人材を輩出
人間性を引き出す
リハビリテーション学部のプログラム

リハビリテーション学科では、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に採択された「認知症予防推進プログラム」を進めてきた。2016年度から4年間のプログラムで、佐賀県内各地で健康教室や認知症サロン、認知症カフェを開催するもの。現在も、学生がリハビリテーションを通じた認知症予防に関する地域活動に取り組んでいる。作業療法士、理学療法士は、リハビリテーションを担うため、患者と最も長く付き合う医療職といわれ、療法師として豊かな人間性が求められる。カリキュラムでは医療の専門職として取るべき行動や心構

えを重視している。高齢化社会の到来でリハビリテーションはますます重要視され、作業療法学専攻、理学療法学専攻ともに定員各40人に対して2000件以上の求人がある。就職率100%、九州一円の地域基幹病院や国公立病院で、病院実習の際に人間性を買われて就職が内定する例も多い。

地域の小学校と連携
児童との触れあいで
専門性高める子ども学部

子ども学部では、近隣の若楠小学校の児童約100人を招いて「子どもフェスタ」を毎年開催している。1年生6、7人でグループを作り、ゲームやお化け屋敷などの遊びを企画、子どもたちと一緒に楽しむ。安全と自由度、相反しがちな要素のバラ

ンスを取りながら、子どもと楽しむことができる遊びや子どもたちとの距離感など、関わり方の基本を体験的に学ぶ。子どもは何を考えどう行動するかを肌身で覚えて、2年次以降の学修につながる貴重な機会となっている。「子どもミュージアム」では乳幼児と保護者を対象に、リズム遊びやお話会を行う。3年生は全員、ゼミ単位にこれまで学んだ知識を生かして取り組む。2011年からは佐賀市文化会館を舞台に「表現フェスタ」を開催。和太鼓、コーラスなど、音楽・身体表現系のサークルが成果を発表している。

心理カウンセリング学科は、小城市の8小学校に4年生を派遣し児童のフォローをする「子ども支援ボランティア」事業に取り組む。授業中に離席する・対人関係がうまく取れない・授業中も机に伏せるといった「困り感」のある児童への支援が主だ。大学院に進学し、公認心理師の国家資格取得を目指す学生や、児童に関わる職に就職を希望している学生23名が参加している。担任教諭、養護教諭と連携しながら毎週1回、3～4時間、気になる児童に寄り添って、話し相手をし、学習支援や遊び相手など多岐にわたる活動を行っている。座学では味わえない貴重な現場体験だ。大学院附属臨床心理相談センターは、遊戯療法、箱庭療法の設備が完備した日本でも有数の施設で、2017年には日本遊戯療法学会も開催された。教員の指導のもと、大学院生が不登校など年間数百件の相談に応じている。

小中学校で「命の授業」
命と性の大切さ説く
看護学部准教授の活動

上野恭子・看護学科准教授は、命の誕生の現場で助産師として勤務した立場から、福岡市の小中学校・高校などで「いのちの授業」を開催、自己の存在と他者の存在を理解し、お互いを思いやることの大切さを教えている。授業は2回シリーズで、受精から誕生までのストーリーや、人形を使った抱っこ体験などを通じ、自分たちが生まれ成長したことや一人ひとりの存在がいかにかけがえのないことかを理解してもらう。また、思春期の身体の変化、性感染症、男女の違いを双方が理解し、生まれることができない命がある現実や、親から受け継いだいのちの継承についてよく考えることが大切だと認識してもらう。生徒からは「性とは何て神秘的で素晴らしいものなのかと思った。僕の性の知識は浅いものばかりだった」「『生まれてこなければ良かった』、『死ね』などとは絶対に口にしてはいけない」など、命と性を真正面から受け止めた感想が寄せられている。

明日の自分を探しに来ませんか？
2020 オープンキャンパス

神埼・佐賀・小城の3キャンパスで同時開催

お申込は
こちらから

第1回 7/25(土)

全キャンパス共通 13:30～16:00

「これからの自分を決めるのは今だ！」

- ◆個別相談「取れる資格は？」
- ◆在学生との交流「1日の流れを教えてください！」
- ◆施設見学「学内おすすめスポットは？」
- ◆保護者相談「就職先はどこ？」

第2回 8/10(月・祝)

神埼・佐賀キャンパス 10:00～14:30
小城キャンパス 10:30～14:00

「保護者の方の質問にお答えします！」

- ◆入試・奨学金説明「奨学金の種類は？」
- ◆個別相談「入学から卒業まで何でも相談！」
- ◆在学生との交流「オススメのサークルは？」
- ◆保護者相談「学費はどれくらいかかる？」

第3回 8/23(日)

神埼・佐賀キャンパス 10:00～14:30
小城キャンパス 10:30～14:00

「最終確認のための個別相談会！」

- ◆入試・奨学金説明
- ◆個別相談「入試対策はどうしたらいい？」
- ◆在学生との交流「オススメのゼミは？」
- ◆保護者相談「一人暮らしの生活費はどれくらい？」

●新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止や内容を変更する場合がありますのでご了承ください。最新の情報はホームページにてご確認ください。



■健康栄養学部 健康栄養学科
■健康福祉学部 社会福祉学科、スポーツ健康福祉学科
■リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
作業療法学専攻
■子ども学部 子ども学科、心理カウンセリング学科
■看護学部 看護学科

学校法人 永原学園

西九州大学

お問合せ先(入試広報課) ☎0952-37-9207